福岡教育大学大学院教職実践専攻年報　第10号　73-78（2020）

〔研究論文〕

若手教員の学級活動(3)の授業力向上を目指す研究
−学級活動(3)プランニングシートを活用したコンサルテーションを通して−

A Study aiming to improve the teaching ability of young teachers' class activities (3)
-Through Consultation Using Class Activities (3) Planning Sheets-

中　村　雅　司
Masashi NAKAMURA

脇　田　哲　郎
Teturou WAKITA

福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻
生徒指導・教育相談リーダーコース/
福岡市立住吉小学校

福岡教育大学教職実践ユニット

（2020 年１月 31 日受理）

小学校の全教員に対して，授業実践の前・後に授業に関するコンサルテーションを実施し，若手教員の授業力向上と授業への抵抗感を減らすことを目的とした研究を行った。実践前のコンサルテーションとして，題材毎に学級活動(3)プランニングシート(脇田,2016)を提案し，児童・学級の実態に合わせて検討した。実践後のコンサルテーションとして，授業効果の分析と PS の修正の検討を行い，学級活動(3)の授業の振り返りの仕方を検討した。若手教員の授業力や授業に対する抵抗感は改善され，学校全体でキャリア教育を充実させ，系統的にキャリア形成を図っていくための基盤作りができた。実践の結果から，学活(3)の題材毎の PS を作成し，授業の前後でコンサルテーションを行うことで経験の浅い若手教員であっても，振り返りの過程まで意識した授業を実施することができ，小学校における系統的なキャリア育成につながることが示唆された。

キーワード：学級活動(3)，キャリア教育，キャリア育成，プランニングシート

１　問題と目的

平成 29 年度に告示された小学校・中学校指導要領（以下，新学習指導要領）小中学校で特別活動をキャリア教育の要と位置づけ,学級活動（３）（以下,学活(3)）で「ア　現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」「イ　社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」「ウ　主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」の内容を学ぶことになった。 キャリア教育とは平成 20 年（2008 年）の中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」で一人一人の社会的･職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育と定義されている。しかし，学活（３）の授業モデルが確立し，各学年で系統的な実施には準備が必要であると考える。基礎的汎用的能力を基本として，各学校の実態に合わせてめざす児童像を設定し，学活（３）を要としてキャリア教育を充実させていくためには，授業モデルを提示し教員のキャリア教育の考えや学活（３）の授業への理解を深める必要があると考える。本校における事前の意識調査では学活（３）やキャリア教育に関して，新しい学習と捉え負担に感じているという意見や，小学校におけるキャリア教育の意義をつかめていないという意見があった。

そこで，本研究では，学活（３）の実施にあたりプランニングシート(以下，PS)を活用した授業を行い，研修会等を通して教員に推進していくことで，教員の学活（３）の授業への抵抗感を軽減していきたいと考える。

２　方法

研究の流れ

本研究においては，学活（３）の授業実践に関するコンサルテーションと，キャリア教育，学活（３）の概要を捉えるコンサルテーションの２種類の取り組みを行った。

【学活（３）の授業実践に関するコンサルテーション】

小学校１年生から６年生までの全学級において，学活（３）のウの内容，主体的な学習態度の形成を扱った題材で授業を行った。同学年の３学級の中で，若手教員の学級で報告者が実践を行い，その後授業内容等を修正して残りの２学級については，学級担任が授業を行った。授業実践前に授業内容や指導方法について PS を活用して学年の教員と検討した（表１授業前のコンサルテーション）。報告者の授業実践の際には，同学年の他の２名の担任は授業を参観し，授業の流れを確認し，次の実践に参考にした（表１授業中のコンサルテーション）。授業実践後は教員に対して，児童の取組の振り返りのさせ方やカウンセリングの方法を説明し，実際に振り返りやカウンセリングを実施した（表１授業後のコンサルテーション）。

表１　３段階のコンサルテーション

授業前のコンサルテーション ・授業計画（プランニングシート）作成・提案 ・教材、教具の作成 ・学級のアセスメント
授業中のコンサルテーション ・１学年１学級報告者が授業実践 ・授業研修 ・他のクラスは修正後担任が授業実践
授業後のコンサルテーション ・児童への個別・グループに対するカウンセリング ・授業後の振り返り

【キャリア教育，学活（３）の概要を捉えるコンサルテーション】

月１回程度ショートタイムで（15 分程度）キャリア教育の概要や学活（３）の授業に関する職員研修を行った。教員の意識調査を実施し，ニーズや実態を調査した上で，研修計画を立案し，研修を行った。

研究期間

201X 年６月～201X+１年 12 月

研究参加者

A 市内の公立 B 小学校の全担任（18 名）

A 市内の公立 B 小学校の３，４，５，６年生

効果測定

本研究の検証には，以下の尺度を用いた。また，分析には，HAD（清水，2016）を用いた。

【児童質問紙】（３・４・５・６年生）

①「学校環境適応感尺度」ASSESS

学校環境適応感尺度を活用し，授業実践の前後で変容を分析し，授業効果を図る。６因子中，生活満足感と学習的適応の２因子について分析する。

②児童用実践振り返りシート

授業実践後に児童が授業中に決定した取組を振り返るシートを活用して，実践の状況や児童の感想を分析する。

【教師質問紙】（４年経験未満の若手教員）

④教師用事後アンケート

職員研修後に自由記述式の振り返りシートを活用する。また，学活(3)，キャリア教育等に関する意識調査を４件法で実施する。

⑤【教員へのインタビュー】

研修や授業実践の後に教員へのインタビューを実施する。

実施の手続き

①主体的な学習態度についての教師用事前アンケート

小学校１年生から６年生までの全学級において実践する題材は学活（３）の内容ウ，主体的な学習態度の形成を扱った。そこで，小学校の全教員に対して主体的な学習態度に関する事前アンケートを実施した。表２に示した 11 項目から該当す

表２　主体的な学習態度に関するアンケート結果

1　誤答を馬鹿にしない共感的な態度	14名
2　返事や発言のルールを守る姿勢	13名
3　発言や発表の意欲	７名
4　予習・復習をして授業に臨む態度	０名
5　他者の発表を聞く聞き方スキル	14名
6　ペアやグループでの話し合いのスキル	10名
7　聞き手を意識した発表のスキル	２名
8　課題に対して自分なりに考えようとする姿勢	13名
9　学んだことや自分の考えを発信しようとする姿勢	５名
10　自分の考えの参考にしようとする姿勢	６名
11　学びの成果を認め，喜びを実感する姿勢	７名
・ノートだけでなく説明をメモする姿勢	自由記述
・丁寧な字で記録し，家で見直す態度	自由記述
・授業から何かを得ようとする態度	自由記述
・しっかり学習準備して授業を受ける	自由記述

るものを選択できるようにし，自由記述の欄も設けて，アンケートを実施した。「共感的な態度」や「ルールを守る姿勢」，「聞き方スキル」，「話し合いスキル」，「自分なりに考えようとする姿勢」などの項目が必要だと考えている教員が多かった。

②授業題材の決定

表３　授業題材一覧

学年	実施日	題材
1年	12月７日	【話し方・聞き方】
2年	11月15日	【質問・意見の言い方】
3年	12月12日	【話し合い方】
4年	11月30日	【話し合い方】
5年	11月15日	【授業の受け方】
6年	12月21日	【授業の予習・復習】

授業の題材については，主体的な学習態度に関する教員アンケートをもとに，各学年の教員と検討の結果，表３のように設定した。

③学活(3)の進め方

学習指導要領(平成 29 年改訂)に示されている学活(３)の流れを示し(図１),「つかむ」「さぐる」「みつける」「きめる」の学習過程で授業実践を行った。授業できめた取り組みを実践していきながら，振り返りを行い，目標や取組，方法を修正していくことを意識して授業実践を行った。特に授業では図１に示す①問題の発見・確認，②解決方法の話し合い，③解決方法の決定を行い，④決めたことの実践と⑤振り返りは授業後の時間に扱った。

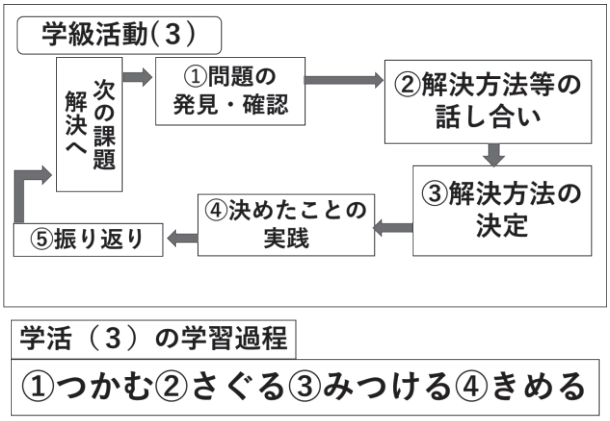

図１　学活(３)の学習の流れと学習過程

④PS の作成・提案(実践前のコンサルテーション)

学習指導案に代えて PS を作成した。図２に示す本時の目標等，本時の活動等，本時の流れ，実践と振り返りを報告者が作成し，各学年の教員に

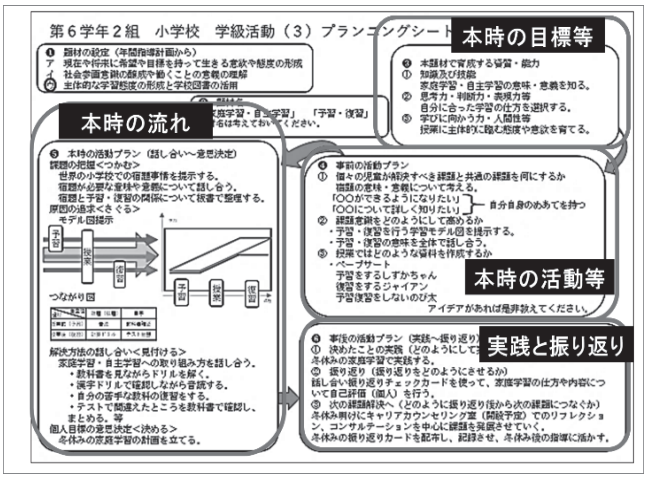

図２　PS の構成について

提案し，学級や児童の実態に合っているか，検討した。

PS の「本時の目標」「本時の活動」「本時の流れ」「実践と振り返り」の内容についてはそれぞれ以下の通りである。

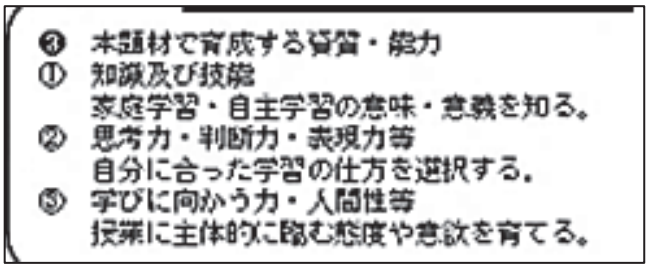

図２-①　PS の本時の目標ついて

図２-①は PS の本時の目標である。知識及び技能，思考力・判断力・表現力等，学びに向かう力・人間性等で整理し，題材と学年の実態に合わせて設定した。

図２-②は PS の本時の活動である。課題の設定と解決の見通しをどのように持たせるかをまとめ提案した。主に自己の課題を見つける場面と課題

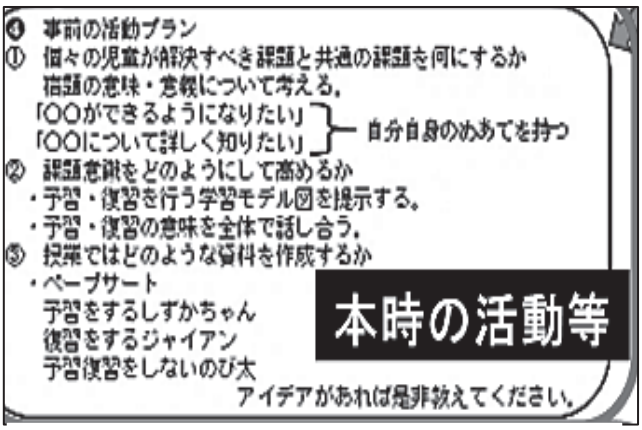

図２-②　PS の本時の活動ついて

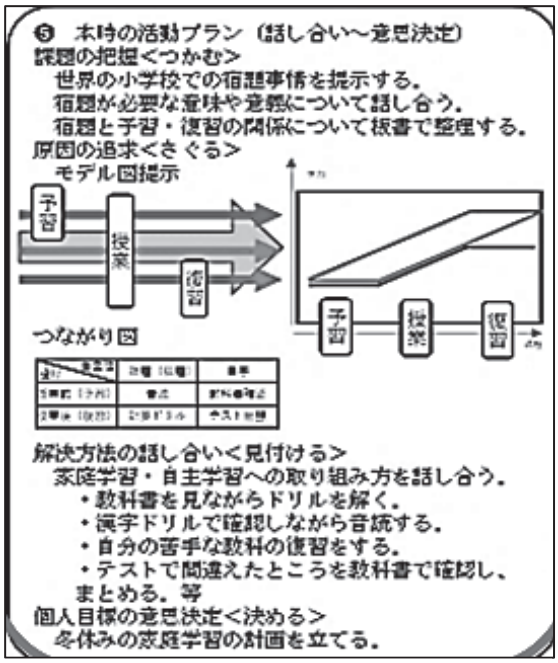

図２-③　PS の本時の流れついて

を解決する方法を決める場面の手立てを中心にまとめた。

図２-③は PS の本時の流れである。つかむ・さぐる・みつける・きめるの４段階で授業の流れをまとめた。活動内容を示し，学年担任と検討するために作成した。

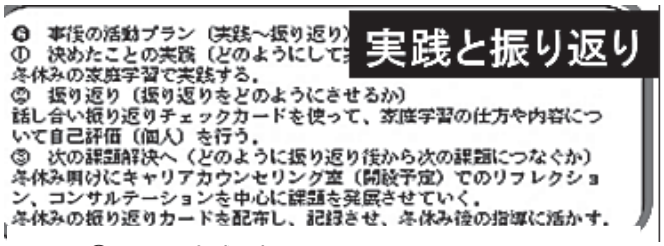

図２-④　PS の実践と振り返りについて

図２-④は PS に記した実践と振り返りである。特に振り返りの場の設定や回数，実践の期間を学年担任と検討するために設定した。学活の学習における振り返りについて担任が意識できていなかったので，説明を加えながら検討した。

⑤（事後のコンサルテーション）

事後のコンサルテーションは図１の④決めたことの実践と⑤振り返りのさせ方について報告者がモデルを示し，各学級担任に実践させるようにした。授業後の継続的な関りが必要であり，グループでの振り返りのさせ方や振り返りの場の設定についても具体的にモデルを示し，実践へとつなげた。

⑥児童の実践の進め方

教育課程内で児童が決めた取り組みを実践できるように授業の受け方やスキルに関して取組を決めさせた。表３の題材のように授業中に実践できるものを設定し，グループでの振り返りができて，継続的な教員の関りが可能なことに取り組ませた。６年生に関しては家庭学習の取組が中心となったが授業中に効果が確認できると判断し設定した。児童が，授業中に取り組みを実践していくことができるよう助言して，取組を決定させた。

⑦児童の振り返りの仕方

児童の振り返りシートにコメントをつけ，個別にカウンセリングを行っていくとともに，朝の会や帰りの会，また学活の時間にグループ・個人での振り返りの場を設定した。

⑧教員への事後アンケートの実施

１年生から６年生までの全ての学級で授業実践が終わった段階で，各学級担任に対して学活（３）の授業やカウンセリング・振り返り，コンサルテーションに関して事後調査を行った。

結果

①「学校環境適応感尺度」ASSESS

表４　３・４・５・６年生の ASSESS の実践前後の結果

尺度	生活満足感				学習的適応			
時期	実践前１学期		実践後２学期		実践前１学期		実践後２学期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
３年生（n＝33）	43.000	9.000	47.333	8.568	51.909	13.575	52.606	14.567
４年生（n＝30）	49.267	9.798	54.700	13.859	50.300	11.923	49.333	12.941
５年生（n＝30）	56.033	14.392	56.400	14.885	53.567	13.793	52.433	11.392
６年生（n＝30）	50.156	13.919	45.656	11.050	53.875	12.451	50.875	12.034

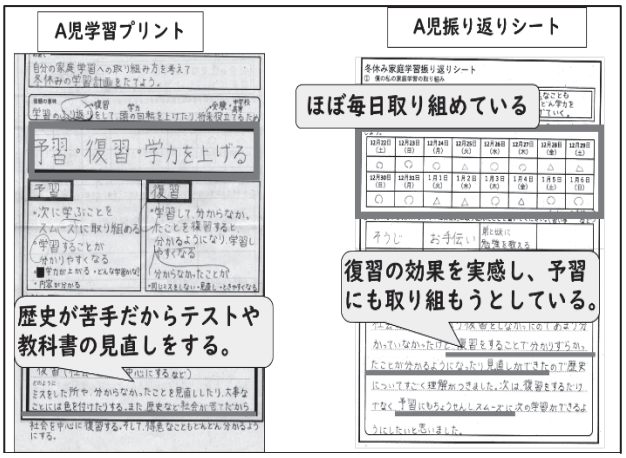

図３　６年生Ａ児の振り返りシート

表４は３年生から６年生の児童の実践前後の学校環境適応感尺度の結果である。生活全般における満足度を図る生活満足感尺度においては３・４・５年生に平均値の上昇が見られた。学習に関する満足度を図る学習適応感尺度においては３年生に平均値の上昇が見られた。Ｔ検定の結果，どの上昇も有意差は認められなかった。この結果から一回の学活（３）の授業だけでは効果が薄く，他教科での学習と連動させて決めたことを実践する場と意識していくことが必要だと考える。
また学校環境適応感尺度を用いて効果測定を行ったが，今回設定した授業内容を測るには適切でなかったことが考えられる。

②児童用実践振り返りシート

各学年の児童は自分の取組を決め，意識しながらその後の授業場面で実践することができていた。

図３の６年生児童は，復習に取り組むことをきめ，家庭学習でほぼ毎日取り組むことができた。実践の振り返りで，復習の効果を実感し，予習についても今後取り組んでいきたいという感想を書

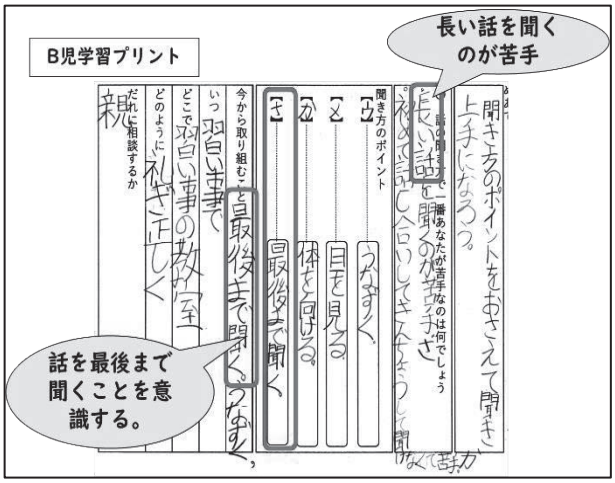

図４　４年生Ｂ児の学習プリント

いている。これは図１の学習過程の中で，次の課題解決につながっている姿だと考える。

図４の４年生児童の学習プリントでは，自分は長い話を聞くのが苦手であると自己の課題を見つけている。その後，聞き方のポイントの中から，最後まで聞くというポイントを意識して，途中で話さずに集中して話を聞くことを決めている。このように自己の課題に気付き，課題の解決の方法を話し合い，自分に合った取り組みを決めることができている。

【教師質問紙による学級全体の検証】

⑤【学級担任へのアンケート】

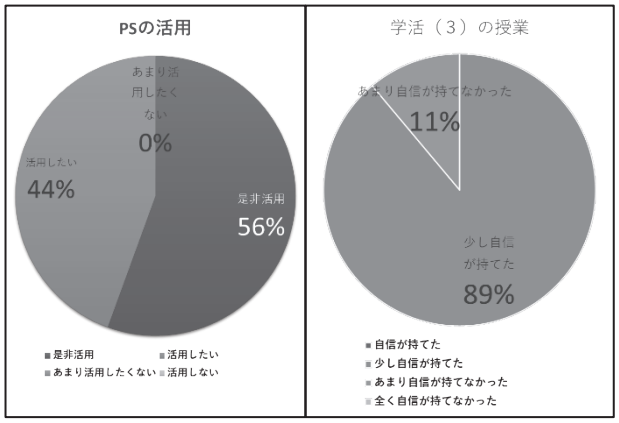

図５　PS の活用と学活（３）の授業に関する
アンケート結果

実践後教員に対して，プランニングシートの活用について，学活（３）の授業について，コンサルテーションについて，振り返りについての４点で意識調査を行った。

まず，図５のグラフに示したようにPS を今後も活用していきたいかという質問に対し，５６パーセントの教員が是非活用していきたいと答えている。残りの 44 パーセントの教員も活用していきたいと答えてる。

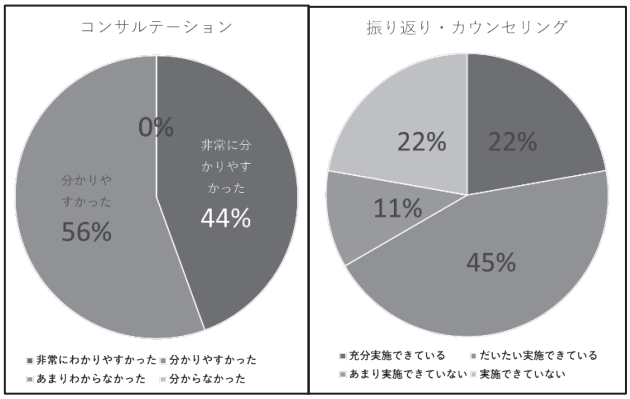

図６　コンサルテーションと振り返り・カウンセリング
に関するアンケート結果

次に図５にあるように，学活（３）の授業について自信が持てたかという質問に対しては，89 パーセントの教員が少し自信が持てたと答えている。

図６に示したように，コンサルテーションについてわかりやすかったかという質問に対して，非常にわかりやすかったと答えた教員が 44 パーセント，分かりやすかったと答えた教員が 56 パーセントだった。

図６に示したように，振り返り・カウンセリングの実施についての質問に対しては実施できていると答えた教員が 22 パーセントだった。できていない・あまりできていないと答えた教員も合わせて 33 パーセントだった。

考察

成果としてはＰＳを活用することで，教員の抵抗感は減らすことができた。また，在籍校の実態に合わせた「自学」の態度を育成する授業を示すこともできた。

次に課題は，ガイダンスとカウンセリングを連動して実施できていない。特にカウンセリング（事後指導）は十分に実施できていない。

学活（３）を要としてキャリア教育を推進し，キャリア形成を図っていくためには，授業と，実践，振り返りを連動させる必要があると考える。

本研究では，授業をガイダンスと考え，その後，決めたことを実践し，振り返りを個別とグループでのカウンセリングと考えて実践した。カウンセリングの実施方法を提案していく必要があると考える。各学年間の系統性と継続性が大切であり，年間計画に位置づけ，積み重ねてキャリア形成を図っていくことが大切だと考える。

小学校において各学年の実態を踏まえて，題材を設定し，学年で題材，指導方法等をそろえて実践することで，教員のキャリア教育に対する意識が高まり，指導の充実につながったと考える。（新谷，2014）では運動会・体育祭や校外学習，集団宿泊活動，ボランティア活動，自然体験活動の義務教育や高等教育の中での体験を通してキャリア教育やキャリア意識の発達の質的な評価をしていくことを提案している。また，そのことによって，今各学校が実践していることからのキャリア教育の構築になり，実践しようと思えばどこの学校でもすぐに計画立てて取り組めるのではないかと述べている。

そこで，本研究では，実践の場を各教科の授業に位置付けることができるように，題材を学び方に焦点化して１年生から６年生に授業実践を行った。題材を学び方に焦点化することで，授業から実践，振り返りの過程までを担任が継続的に指導することができ，全ての担任に学活（３）の授業を体験させることができた。PS を使ったコンサルテーションを行うことで，全ての担任に，学活（３）の授業の構想から，実践，振り返りまで関り，授業づくりを行うことができたと考える。

学活（３）の授業はキャリア教育の要として位置付けられているが，実践例が少なく，具体的な実践にむけて，負担に感じる教員も少なくない，本研究では校内研修と具体的な実践を通して，教員の負担感の軽減を図った。学校全体でキャリア教育を推進していくための校内研修と PS を使った授業研究の進め方の方策を示すことができたと考える。今後は、学活（３）の内容、主体的な学習態度の形成だけでなく、内容のア、イの社会参画意識の醸成や自己実現に向けた態度の形成についても実践を行っていきたいと考える。

引用文献

新見直子　2008　中学校版キャリア意識尺度の開発　広島大学大学院教育学研究科紀要　第三部　第 57 号　225－233

新見直子・前田健一　2009　小中高校生を対象にしたキャリア意識尺度の作成　キャリア教育研究　27　43－55

大坪靖直・小泉令三　2003　小中連携が児童・生徒の適応に及ぼす影響ー１公立中学校区の実践例の検討ー福岡教育大学心理教育相談研究　第７巻　31－37

新谷裕　2014　小学校から中学校への移行期におけるキャリア意識の発達　生涯学習・キャリア教育研究　第６号　11-23

柴山伸一　2013　中学校におけるキャリア教育を中心に据えた体験プログラム再構成の試み　福岡教育大学教職実践専攻年報　第３号　159－166

徳岡大・山縣麻央・淡野将太・新見直子・前田健一　2010　小学校のキャリア意識と適応感の関連　広島大学心理学研究　第 10 号

吉武聡一・西山久子　2011　小学校におけるキャリア教育の推進に関する動向と実践上の課題　福岡教育大学紀要　第 60 号　第４分冊 191 - 202